

広報紙

ほっかいどう

その先の、道へ。北海道
年5回発行(5・7・9・11・2月の下旬)



道産品が
当たる!

2016年
8月号
平成28年7月発行
通巻216号

【特集】北海道らしい安心の暮らしづくり

誰もが笑顔で暮らせるように。
住んでいて良かったと思える
北海道づくりを進めています。

一人一人が社会の中で活躍し、
子育てなど安心して暮らせる
まちづくりを目指して
「住まいの北海道」プロジェクトを
進めています。



地域に暮らす誰もが
安心と豊かさを実感できる
北海道をつくりましょう。

北海道知事



人口減少は 暮らしに直結する問題です

北海道がいま直面している大きな課題は、人口減少問題です。北海道では全国を上回るスピードで人口減少が進み、現在の人口の約540万人から、2040年には約419万人にまで減少すると予測されています(国立社会保障・人口問題研究所推計)。

人口減少の要因には、少子高齢化に伴つて死亡数が出生数を上回る「自然減」と、若年者が進学や就職などで道外に転出する「社会減」があります。北海道は1998年以降、社会減が自然増を上回ることで人口が減り始め、2003年以降は自然減と社会減が相まって人口減少が加速しています。

今後、人口減少がさらに進むと、生産・消費など経済活動の深刻な停滞を招くほか、税収額が減少して行政財政を取り巻く環境が深刻化し、地域の暮らしや経済を支える重要な機能が危機的な状況になると予想されています。

▶特集(表紙部分)に関するお問い合わせ

道庁地域創生局地域戦略課 ☎(011)204-5131 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/csr/jinkou/senryaku/senryaku.htm>
「北海道創生総合戦略」は、道のホームページで閲覧できます。

未来に向けた5つの 重点戦略プロジェクト

そこで道では、「北海道創生総合戦略」に基づいて人口減少問題への対応を進めています。この戦略では、「幅広い世代が集い、つながり、豊かに暮らせる包容力のある北海道」をめざす姿とし、次の5つの重点戦略プロジェクトを中心に取り組んでいます。

1. 安心のまち・暮らし「住まいの北海道」プロジェクト
2. 北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト
3. 未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト
4. 輝く「アジアのHOKKAIDO」創造プロジェクト
5. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

この重点戦略プロジェクトに取り組む背景には、2つの考え方があります。恵まれた自然環境、個性豊かな歴史、文化、産業など、北海道ならではの地域特性を生かした「北海道価値の磨き上げ」を行うこと。また、本道の基幹産業である農林水産業の成長力を強化しながら、食や観光分野を中心に、アジアをはじめとした海外需要の取り込みを図って「北海道産業の競争力の強化」を行うことです。

このように、暮らしと経済の両面から北海道の強みを発揮し、人口減少の危機克服を目指します。

笑顔の暮らしへ 「住まいの北海道」

重点戦略プロジェクトの中で、道民の皆さんにより密接なのが「安心のまち・暮らし『住まいの北海道』プロジェクト」です。

このプロジェクトは、誰もが活躍できることで、豊かに暮らせる環境づくりを進め、多くの人が呼び込むことができる地域社会をつくることを目的にしています。

地域ぐるみで結婚・妊娠・出産・子育てなどをサポートする「安心して子育てできる環境づくり」、女性や若者、高齢者など誰もが「いきいきと輝く活躍の場づくり」、移住促進や企業誘致などで多くの人を呼び込む「北海道の暮らしの価値づくり」などがプロジェクトの柱です。

中面では、その具体的な取り組みを紹介します。

北海道クイズ
北海道の愛食運動をPRする
キャラクターの名前は?

大地くんと
めみちゃん



答えは中面下に▶

特集 北海道らしい安心の暮らしづくり

暮らしの質を高めよう

安心のまち・暮らし「住まいる北海道」プロジェクト

安心して子育てできる環境づくり

●どさんこ・子育て特典カードが全国共通に

道では、子育て家庭を応援しようと「どさんこ・子育て特典制度」を実施しています。

この制度では、妊娠さんや小学生以下の子どもがいる世帯を対象に、市町村を通じて特典カードを配布。子どもと同伴での買い物や施設利用の際に特典カードを提示することで、協賛店舗からさまざまなサービスを受けられます。

さらに今年度から、このカードが道外でも使えるようになりました。子育て支援バスポート事業の全国共通展開に参加する41府県で利用できます。道外で利用する場合には、特典カードにある「全国共通口コミマーク」のスッキーマークなどが掲示されている協賛店舗が対象となります。詳しくはホームページなどでご確認ください。

ハグマジック・どさんこ・子育て
検索

▶道厅子ども子育て支援課 0(11)204-5235

●不妊治療の経済的負担を軽減

赤ちゃんを授かりたいと不妊治療を受けていたる夫婦の経済的負担を軽減するため、道では特定不妊治療費の助成を行っています。対象となる治療は、体外受精および顕微授精。治療を始めた妻の年齢が43歳未満の夫婦で、道が定める要件を満たしている場合に助成を受けられます。

北海道 特定不妊治療
検索

▶道厅子ども子育て支援課 0(11)204-5235

体験乗車で工夫!

廃線跡の駅・線路や、
体験列車で、陸別を元気に。

観光鉄道「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」[陸別町]

廃線となった「ふるさと銀河線」の旧陸別駅に、ホームや線路などの鉄道施設をそのまま利用した体験型観光施設があります。元運転士の指導のもと小学生※1でも列車の運転体験ができ、18歳以上※2であれば、1.6kmを往復するコースも体験可能です。また、乗車体験では駅跡地まで往復するコースが人気です。元運転士や保線員はじめ、「ふるさと銀河線」に思い入れのある人々が道内外から集まり、スタッフとして4月下旬~10月下旬まで運行体験を支えています。
※1 小学生の運転には、条件があります。※2 駐構内コース体験者に限ります。

子どものころから鉄道の運転士になるのが夢で、大学時代は全国の運転体験施設をめぐっていました。6年前、初めて陸別町を訪れて体験したとき、運転できる距離が長く、指導運転士からマンツーマンで教えてもらえることに感動しました。

地元の皆さんの中でも、優しさや観光資源の可能性に惚れ込み、卒業後、「地域おこし協力隊」に応募。埼玉から移り住みました。いまの夢は、走行距離をさらに延ばすこと。できれば鉄道博物館もつくりたいです。

▶お問い合わせ ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ☎(0156)27-2244

北海道ひと・人・くふう

アイデアも道産!

北海道を豊かにする、地域の皆さんのかな「ひと工夫」を紹介します。

陸別町
小樽市

鉄道遺産編

1880年に鉄道が走った旧手宮線跡地(小樽市色内2丁目10)を会場に、2000年から野外写真展が開催されています。年間を通して、道内のプロカメラマン、写真愛好家、学生たちが集い、小樽市内と一緒に撮影会や鑑賞会を開きながら、8月下旬の写真展に向けた準備を進めています。

それぞれ自由なテーマで廃線跡に写真を展示し、24時間見学できるよう夜間照明も完備。「野外での写真展は珍しい」と、外国人観光客にも評判です。ことは8月29日(月)~9月11日(日)に開催予定。

旧手宮線は、幌内炭鉱から石炭を小樽港に運ぶために敷かれた鉄道の跡地。その歴史と存在感にひかれ、空間に負けない作品にしようと、毎年、出品者たちは格闘しています。

写真展の準備をしていると、差し入れをいただきたり、小樽の昔話を聞けたり、地元の人々と交流できるのも楽しみのひとつ。ことで16回目の開催となります。野外展示なのに無くなつた作品は一枚もない。これは僕らの誇りです。

▶お問い合わせ 小樽鉄道・写真展実行委員会(担当:岩浪) ☎090-3892-5192

キラキラ! どさん子

道内各地で、未来に向かってきらきら輝く
そんな子どもたちを応援します。

全国でも珍しい! 小学生が
ミツバチを飼育しています。

町立居武士小学校の「ミツバチの養蜂学習」

訓子府町

メロンや玉ねぎの産地として知られる訓子府町。この町で三代続く菅野養蜂場では、「ミツバチの働きで農作物が育つことを伝えたい」と、16年前から町立居武士小学校の総合的な学習の時間で養蜂の指導を続けています。

授業は5、6年生を対象に、巣箱の製作、ミツバチの観察、採蜜などプロと同じ作業や、ハチミツ料理、蜜ろうキャンドルづくりも体験します。

中村厚志校長は「最初は怖がりますが、ハチの生態を知ったり、扱いを覚えたりするうちに、一匹が一生かけて集めるハチミツの少なさに驚き、食べ物の大切さに気づくようになります」と、児童の成長を感じています。

▶お問い合わせ 町立居武士小学校 ☎(0157)47-3160

当たる! 北のおいしさ!

「北のハイグレード食品+2016」に選ばれた(有)余湖農園「完熟トマト鍋スープ」(3個セット)をプレゼント!

応募特典: 抽選で30名様

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限: 8月25日(木)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先: ハガキ ☎060-8588(住所不要)

北海道広報広聴課「当たる! 北のおいしさ!」係

パソコン 広報紙ほっかいどう 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※6月号のプレゼントには、3,894件の応募をいただきました。

次号のお知らせ

10月号は9月21日(水)から配布予定です。

VEGETABLE OIL INK

みんなの文字

R70

この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているのです。